



英国地域劇場事情～イギリスの地域劇場レポート～  
#2 リバプール、エグリマン& プレイハウス



「すべての人のための劇場」という名前の劇場です。ナショナルヘルスサービスが作成した貧困度の分布を表す地図をもとに、貧困度の高い地区に向けてさまざまなコミュニティプログラムを実施しています。それらは、①犯罪者(反社会的人間)へのプログラム②見捨てられた人々(老人)へのプログラム③小学校間の縄張り争い解消のためのプログラム④非行の恐れのある若者たちへのプログラム⑤リバプールで一番危険なストリートにある空き店舗を利用した若者向けプログラムなどなど、警察、保健局、住宅局、ソーシャルサービスなどと連携して実施しています。事業予算もそれらの行政機関から出ていることも多いです。

目的は、社会的にも問題を抱えた人たちがアートプログラムを通して社会に復帰、あるいは社会の一員として生きていくための支援をすること。犯罪に手を染めそうな少年には、犯罪経験のある担当者が支援に当たるといいます。このようにコミュニティに深く根差したプログラムを多数展開している一方、とても質の高い演劇作品も制作して、ロンドンの劇場で上演もしているほど。総合的に優れた劇場といえます。

写真：エグリマン& プレイハウス

「えぞこホール」52-3004 URL <http://www.ezuka.com>



野菜入り道明寺蒸し



④牛乳から取り出して絞った②と③の野菜調味料を鳥ひき肉に混ぜ合わせ、さらに卵黄も入れてよく混ぜ合わせる。冷蔵庫で30分ほど寝かせる。

**レシピ担当**  
山崎みね子さん  
(丑越区)  
ピーマンなどが嫌いな子どもたちも喜んで食べます。ほかに子どもが苦手な食材を入れても良いですよ。大人は洋がらしなどをつけてもいいと思います。

**【材料(4人分)】**(写真は1人分)  
もち米1カップ、食パン6枚切り1/2枚、牛乳50g、ピーマン30g、ニンジン25g、タマネギ150g  
調味料(砂糖大さじ1/2、塩小さじ1/2、コショウ少々)  
鳥ひき肉100g、卵黄1/2個、ごま油小さじ1

**【作りかた】**  
①もち米は6時間くらい浸しておき、水から引き上げてクッキングペーパーの上に広げ、5時間ほど乾かす。  
②食パンを牛乳に10分ほど浸しておく。  
③ピーマン、ニンジン、タマネギはみじん切りにする。  
④牛乳から取り出して絞った②と③の野菜調味料を鳥ひき肉に混ぜ合わせ、さらに卵黄も入れてよく混ぜ合わせる。冷蔵庫で30分ほど寝かせる。

**【データ(1人分)】**  
■エネルギー/275kcal  
■塩分/0.8g  
⑤手にごま油をつけて、④を1人3個になるように丸め、①のもち米の上を転がして全体にまぶす。  
⑥湯気の上があった蒸し器で7分ほど蒸す。  
⑦器に盛り付けて出来上がり。

平成26年度大河原町食育スローガン「家族で野菜のおかずをひと皿増やし」

わがまち文芸道場

野良猫は何処に避難ゲリラ雨  
額の花夜は星屑さそう色  
七夕や星待つごとく笹の音  
聖書にも方言のあり青田風  
墓石に寄り添ふやうに夏薊  
七夕竹平和と大きく書きにけり  
遭難の少年の碑やお花畑  
蔵カケスが峰  
蜚や水の匂いの道祖神  
古民家のそば処なりかきつばた  
雲に乗り北の大地へ夏の旅  
コーヒータム猫がじゃれつく素足かな  
天上の子等も降り来よ星祭  
指先に蜚をとめて母を待つ

吾妻 文子  
石垣テル子  
伊澤二三子  
大久保和子  
日下 節子  
鈴木 純子  
中野西範子  
永野 シン  
藤原 悟子  
三塚 直樹  
山家美智子  
遊佐 徹  
佐藤きみこ  
【大河原俳句会】

さくら、きー♡

虫の声  
おしの ともこ作

あは元気なセミの声だけど  
夜になって耳をすますと  
あの声は鈴虫…  
あは元気なセミの声だけど  
夜になって耳をすますと  
あの声は鈴虫…  
あは元気なセミの声だけど  
夜になって耳をすますと  
あの声は鈴虫…  
あは元気なセミの声だけど  
夜になって耳をすますと  
あの声は鈴虫…

大河原町観光物産協会HP上で連載中  
<http://www.oogawara.com>

身近な自然再発見  
…人間と共生する昆虫たち…

梅雨の頃には町内の田んぼでたくさんトンボを見かけました。童謡の「赤とんぼ」で知られるアキアカネたちですが、7月になると、あれほど居たのにみんな姿を消してしまします。どこに行っただけでしょう。アキアカネのヤゴは、6月頃に稲の葉などに登って羽化します。羽が固まるまでは近くの林などで過ごし、一週間もすると高原を目指して飛び立ちます。人間が都会から涼しい軽井沢の別荘に出かけるようなものです。9月になって平地に戻ったアキアカネは、水田などで産卵して一生を終えます。厳しい冬を越した卵は、春になると小さなヤゴに姿を変えて6月の羽化まで成長を続けます。平地と高地を往復しながら一生を終えるわけです。アキアカネとよく似たトンボにナツアカネがいます。胴体の模様が違うだけですが、ナツアカネのほうは平地にとどまって移動はしません。アキアカネは真夏に体温が上がるやと死んでしまうので、避暑をしないわけにはいかないのです。そっくりの赤トンボでも行動が違ってしまうのは自然界の謎の一つです。皆さんが秋に目にする赤トンボは優雅に避暑旅行を楽しんで帰ってきたのです。そう思つて見ると、赤トンボを見る目もちよつと違ってくるかもしれませんね。

次回、北上するチョウの話を紹介します。  
元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん

毎月6人に500円の図書カードをプレゼント!

「わたあめ」  
「戸田雅一」  
▲「ネコマリオ」  
「モンチッチ」  
「山吹鬼」  
「山吹鬼」  
「戸田桜和」

新学期始まって忙しい時期。息抜きにイラストを書いて投稿してね!  
イラスト  
ライター  
だれでも